

平成 2 2 年 度

事 業 報 告 書

公益財団法人 東京動物園協会

目 次

第1 運 営 の 概 要

I. 運 営 概 要	1
II. 決 算 概 要	2
III. 組 織 概 要	3

第2 公 益 目 的 事 業

I. 事 業 総 括	6
〔1〕 決 算 額	6
〔2〕 管 理 施 設	6
〔3〕 各園の主な実施事項	6
II. 事 業 実 績	11
〔1〕 動物飼育及び展示業務	11
〔2〕 野生生物保全業務	26
〔3〕 教 育 普 及 業 務	27
〔4〕 受 託 業 務	47
〔5〕 市民・団体との協働業務	49

第3 収 益 事 業

I. 事 業 総 括	53
II. 事 業 実 績	54
〔1〕 便 益 施 設 等 の 経 営	54
〔2〕 そ の 他 の 事 業	55

第4 事 務 報 告

I. 役 員 会 議 の 開 催	56
II. 監 査	58
III. 人 事 関 係	59

第1 運営の概要

I. 運営概要

当協会は、公益的事業の推進と社会的信頼性の向上を目指して「公益財団法人」へ今年度より移行し、「公益目的事業」と「収益事業」の2区分で事業展開を行った。

国連の定めた「国際生物多様性年」にあたる本年は、多くの来園者に対し、様々な動物展示を通じて生物多様性の重要性をアピールするとともに、企画展・講演会等で野生生物や人間にとって持続可能な将来をつくることの大切さを訴えた。また、ジャイアントパンダの保護や生息環境保全について理解を促し、繁殖研究プロジェクトに寄与するため、ジャイアントパンダ保護サポート基金事業を開始した。

より多くの人に学び、楽しんでもらえるよう、東京都とともに実施した「Tokyo Visit Zoo キャンペーン」をはじめ、動物の魅力を引き出す展示や体験型イベントの拡大、開園日の増加や開園時間の延長等、利用者サービスの向上に努めた。しかし、記録的な猛暑や「東日本大震災」の影響等による約2週間にわたる閉園のため、4園合計の入園者数が前年比11.1%減の約569万人となった。

収益事業は、入園者数の動向と同様に売上高が12.5%減少したが、新規メニューの開発等により売上総利益率が改善された。園のイベント等とも連携して販売の促進を図るとともに、引き続き経費の削減等効率的な運営に努め、公益目的事業会計への繰入額を予定どおり確保した。

人事給与制度改革の一環として主任試験制度を導入したほか、新任職員教育計画の実施や生物系若手研究会等の運営に加えて海外研修制度をスタートし、次世代を担う人材の育成に努めた。

各事業区分における主な実施事項は、以下のとおりである。

事業区分	主な実施事項
公益目的事業	(1) 動物の魅力を引き出す展示に努めたほか、身近な自然体験につなげる観察会の実施等、保全活動の普及啓発を行った。 (2) 国内外の関係機関と連携した個体交換を積極的に行い、ゴールデンターキン等の希少種をはじめ様々な種の繁殖に成功した。また、中国との職員交換によりジャイアントパンダに関する飼育技術の向上を図った。 (3) 国際生物多様性年に関連した展示や講演会、観察会、企画展等の催物を通じ生物多様性の重要性を広くアピールした。 (4) 教育活動ボランティアや動物園サポーター資金による飼育展示環境改善等、都民の動物園事業への参画を促す活動を行った。 (5) 4園合同による民間団体主催の展示会への出展や鉄道会社との連携企画等、新たな利用促進策への取組みを行った。 (6) 効率的な予算執行に努め、各園の便益施設等の集中修繕を実施した。
収益事業	(1) 接遇研修を強化し、きめ細かいサービスで来園者を迎え、顧客満足度の向上に努めた。 (2) 新たなパンダグッズを多数開発し発売する等、話題性や各園の特色を生かした商品開発のほか、イベントと連携した販売促進を行った。 (3) 衛生管理意識の向上に努め、利用者に安全・安心な商品を提供した。

Ⅱ. 決算概要(正味財産増減計算書)

(単位：千円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用収益	1,720	—	3,430	5,150
特定資産運用益	1	—	—	1
受取会費	6,591	—	—	6,591
事業収益	97,892	2,062,367	—	2,160,259
受取寄付金	10,899	—	—	10,899
受取委託料	5,451,152	—	178,078	5,629,230
雑収益	6,706	26,486	36	33,228
経常収益計	5,574,961	2,088,853	181,544	7,845,358
(2) 経常費用				
事業費	5,693,677	1,963,103	—	7,656,780
管理費	—	—	262,200	262,200
経常費用計	5,693,677	1,963,103	262,200	7,918,980
投資有価証券評価損益等	—	3,840	—	3,840
当期経常増減額	△118,716	129,590	△80,656	△69,782
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	45	0	45
(2) 経常外費用	152	1,779	0	1,931
当期経常外増減額	△152	△1,734	0	△1,886
他会計振替額	120,000	△195,676	75,676	0
税引前当期一般正味財産額	1,132	△67,820	△4,980	△71,668
法人税等	—	220	—	220
法人税等調整額	—	8	—	8
当期一般正味財産増減額	1,132	△68,048	△4,980	△71,896
一般正味財産期首残高	286,021	816,176	332,949	1,435,146
一般正味財産期末残高	287,153	748,128	327,969	1,363,250
II 指定正味財産増減の部				
受取寄付金	15,868	0	0	15,868
一般正味財産への振替額	10,899	0	0	10,899
当期指定正味財産増減額	4,969	0	0	4,969
指定正味財産期首残高	54,956	0	0	54,956
指定正味財産期末残高	59,925	0	0	59,925
III 正味財産期末残高	347,078	748,128	327,969	1,423,175

Ⅲ. 組 織 概 要

〔1〕 協会の機構

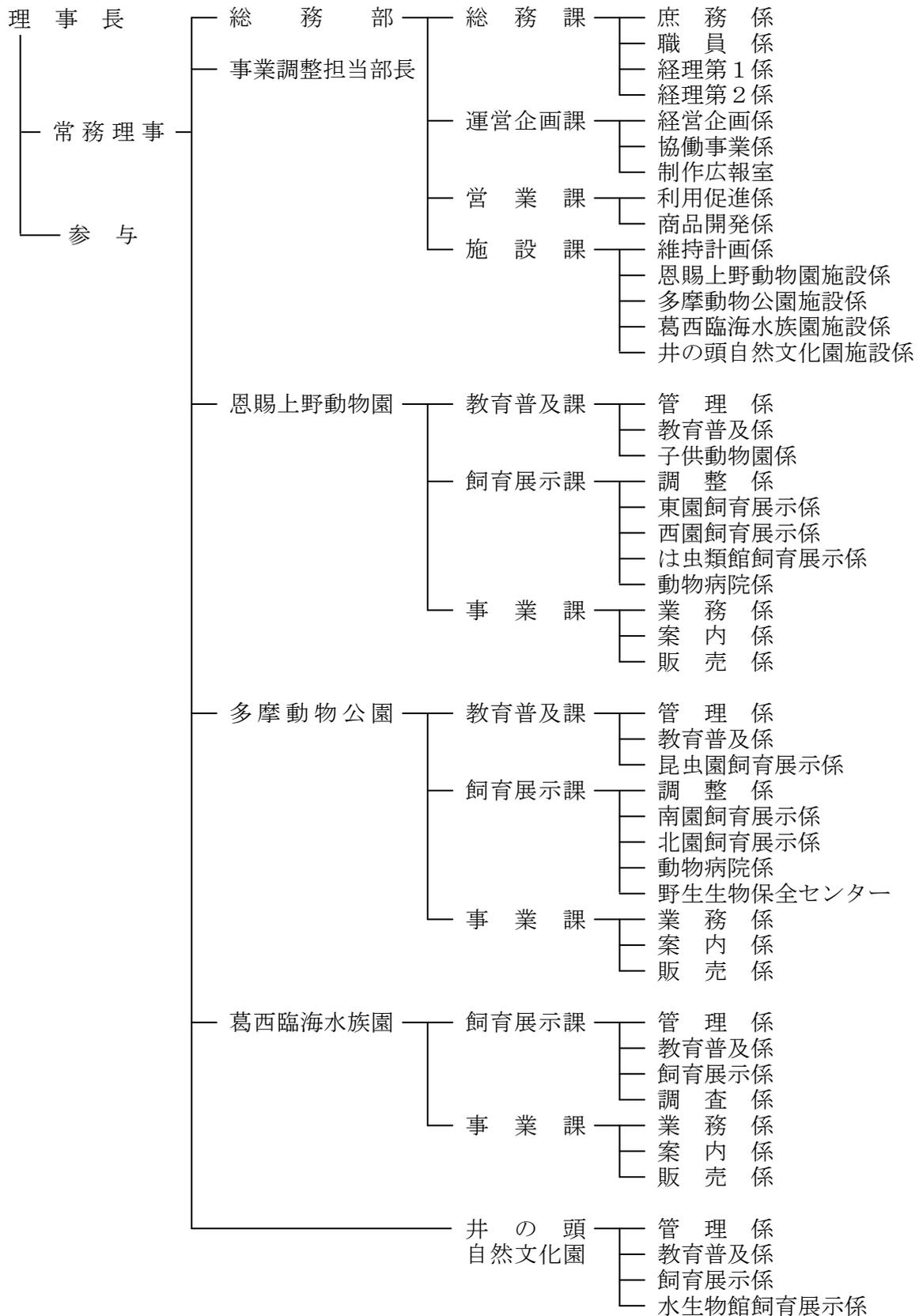
○ 総 裁 常陸宮殿下

○ 会 長 貫洞哲夫

機関名	名 称	人数等	摘 要
1. 議決・監督 機関	評 議 員 会	17名	
2. 執行機関	理 事 会	14名	
	理 事 長	1名	
	常 務 理 事	2名	
	参 与	1名	
	事 務 局	4部13課47係	
3. 諮問機関	顧 問	7名	
4. 監査機関	監 事	3名	
5. 協力機関	賛 助 会 員	5名	
	特 別 会 員	1名	
	準 会 員	3,260名	東京動物園友の会会員

(員数は平成23年3月31日現在)

〔2〕事務局組織



[3] 事務局職員数

(人)

固有職員			都派遣職員			合 計		
職 員	嘱託員	計	職 員	再雇用	計	職 員	嘱託員 再雇用	合 計
127	124	251	160	0	160	287	124	411

(平成23年3月31日現在)

第2 公益目的事業

都立動物園・水族園4園の指定管理者として管理運営を行うとともに、動物園事業の発展・振興を図り、動物とその生息環境について知識を広め、人と動物の共存に貢献することを目的に、動物飼育及び展示業務、野生生物保全業務、教育普及業務、受託業務、市民・団体との協働業務を実施した。

I. 事業総括

〔1〕 決算額 5,693,677,407円（うち東京都協定額 5,629,230,000円）

〔2〕 管理施設

名 称	住 所	開園面積(m ²)	摘 要
恩賜上野動物園	台東区上野公園、池之端三丁目	142,897.89	
多摩動物公園	日野市程久保六丁目、七丁目、南平八丁目	601,372.54	うち無料開園区域 77,508.22m ²
葛西臨海水族園	江戸川区臨海町六丁目	85,958.90	
井の頭自然文化園	武蔵野市御殿山一丁目、三鷹市井の頭四丁目	115,500.00	

〔3〕 各園の主な実施事項

1. 恩賜上野動物園

【飼育・繁殖】

東京都と中国野生動物保護協会が締結した協定に基づき、四川省の雅安パンダ保護研究センターより2頭のジャイアントパンダが2月に来園し、共同繁殖プロジェクトが始まった。また来園に先立ち、同センターに飼育展示課職員を派遣して飼育研修を行ったほか、ジャイアントパンダ飼育に関する情報収集を積極的に行った。

当初、3月22日に公開記念式典、一般公開を行う予定で準備を進めていたが、同月11日に発生した東日本大震災により、17日から都立動物園全体の休園の措置が取られたため、23年度からの公開となった。

今年度の重要動物の繁殖については、平成21年度に豊橋総合動植物園に移動したアジアゾウ「アーシャー」の妊娠が12月に確認された。また、今回も無事、冬眠に入ったニホンツキノワグマの「クー」と「タロコ」が冬眠中に出産をした。「クー」の仔は残念ながら死亡してしま

ったが、「タロコ」の仔は順調に生育している。

【保全活動】

日本のライチョウを絶滅の危機から救うため、飼育繁殖技術の確立を目的に導入したノルウェーのスーパーバルライチョウは、2008年、2009年のふ化個体を使って繁殖を試み、今年度は8羽がふ化し5羽の育成に成功している。また、昨年度に引き続き危険分散のために多摩動物公園に2羽といしかわ動物園に3羽をそれぞれに移動した。

アカガシラカラスバトは20羽を飼育し、人工育すうに力を入れ2羽のふ化・育すうに成功している。現地、小笠原との連携を強化し域内保全への協力を行うとともに、新規個体の導入に向け努力している。

また、ルリカケスはオスの個体のみ飼育であるが、地域（奄美大島）との連携により引き続きメスの個体の導入に向け努力している。

【教育・普及】

2010年は国際生物多様性年ということで、毎年恒例となっている「真夏の夜の動物園」において「君をまつ！500種類のなかまたち」と銘打ち、国際生物多様性年をテーマにしたキーパーズトークやミニトークショー等を実施した。

外部団体等との連携教育による普及活動を活発に実施し、独立行政法人国立科学博物館とは「大哺乳類展～陸の世界～」(3月～6月)、「大哺乳類展～海のなかまたち～」(7月～9月)での連携事業を行い、これを後援するとともに「陸の世界」では移動動物園やギャラリートークを実施した。また、この2つの特別展の開催期間中、相互に入園料の割引をする等の連携も図った。

また、茨城県立自然史博物館の協力により、「旅する鳥たち展」(7月～9月)をズーポケットにおいて開催した。

その他として、都立動物園を宣伝する目的で「東京おもちゃショー」(7月)への参加や、都立動物園を盛り上げていく「Visit Zooキャンペーン」のキックオフイベント(6月)を、東京都とともに実施した。

2. 多摩動物公園

【飼育・繁殖】

今年度も引き続き、飼育展示・繁殖の充実に努めた。国際的な動物の移動としては、血統更新のためにユキヒョウ(メス)をオーストリアより導入した。また、5年ぶりのゴールデンターキンの繁殖をはじめ、アムールトラ、シロオリックス、レッサーパンダ、ソデグロヅル等、希少な動物種の繁殖に成功した。他方、身近な日本産動物の展示にも力を注ぎ、アブラコウモリやヒナコウモリの新規展示や、ゲンジボタルやヘイケボタル、マツムシ等の自家繁殖による展示を行った。さらに、チンパンジーの飼育では、当園で2008年7月に生まれながら、母親がうまく育てなかったために人工哺育で育てた子供を、養母に預ける方法で群れに入れることに成功した。このような成功事例は国内で初めてのことである。

【保全活動】

保全対象種の繁殖に努め、トキ、ニホンコウノトリ等の繁殖に継続して成功している。この

うち、繁殖に成功したトキ3羽を佐渡トキ保護センターへ搬出した。またEIA法による糞中ホルモン測定を実施し、シマウマ等の妊娠判定やトキやツシマヤマネコの繁殖生理の解明に役立っている。鳥類・哺乳類の性判別を、DNA解析技術を用いて約67種について実施。東京の野生メダカの地域個体群の解析を行った。

希少動物の保護繁殖活動の拠点として、都立動物園各園の調整・情報収集・調査研究を実施した。また、ヒトと野生動物の共存を図りながら保全に取り組む地域の実情と各自治体の取り組み、種の保存に取り組む動物園と地域の連携について伝える、保全フォーラム「野生動物を守る 一地域と動物園の連携」（2月）を開催した。

【教育普及・催物等】

教育普及事業・イベント関係では、5月にチンパンジーの森10周年、オランウータン舎5周年を記念して、飼育職員による講演会とオランウータン「モリーさん」が世界最長寿になったお祝い会を行い、多くの来園者の参加があった。また、キーパーズトーク（飼育係のお話）は、1年間を通して国際生物多様性年に関連した内容を実施した。

6月からは企画展「みんな仲間 一動物園の生物多様性」（6月～12月）を行った。他園館と行っているブリーディングローンや保全の取り組み、地域との協力、また、雑木林に囲まれている当園ならではの里山保全の取り組み等を紹介した。8月1日の「ひかりの動物園」点灯式をかわきりに「Vizit Zooキャンペーン」を展開するとともに、8月は毎週土・日曜日に夜8時まで開園時間を延長し、夜間開園「サマーナイト@Tama Zoo」を実施した。一部閉園エリアもあったが、アフリカ園、昆虫園本館、アジア園、オーストラリア園と、ほぼ全区域を公開した。夜の動物園は一般の関心が高く、多くの来園者で賑わった。6月はレッサーパンダの赤ちゃん、7月にはアムールトラの赤ちゃん、12月にはライオンの赤ちゃんの名前を募集し、命名式等も実施した。多摩炭やきクラブの協力を得て、多摩の自然を生かした「雑木林の一年」イベントを8月から10回講座で実施中である。

3. 葛西臨海水族園

【飼育・繁殖】

繁殖困難であったファインスポットテッドジョーフィッシュの繁殖と幼魚の育成に成功したため、幼魚だけを実験展示コーナーで展示したほか、動物交換によりアメリカの水族館に6尾を送り、アメリカンアングラー1尾を譲り受けた。

水族園の目の前に広がる人工なぎさ等を調査する「周辺環境調査」を継続し、東京湾奥部に出現する生物を紹介する展示や活動を展開した。また干潟の観察会や東京の海エリアでの展示を行い、東京湾ではあまり出現記録のないカライワシが採集できたため、育成し展示を開始した。

【保全活動】

昨年に引き続き野生生物の保全活動として、井の頭自然文化園及び多摩動物公園と共同してイモリやメダカの調査を行い、「東京めだか」については「水辺の自然エリア」でパネルでの解説を行うとともに、ホームページ「東京ズーネット」上でも「東京メダカMAP」等の情報を発信した。また、近隣区の小学校2校と連携し、メダカを学習素材とするプログラムの開発を行った。

【教育普及・催物等】

国際生物多様性年をテーマにして、多様な海洋生物や生息環境等を紹介する講演会を企画し、連携して観察会等を行った。深海生物の特設展を開催したことから、「深海のオアシス」と題して研究者の講演（7月）を行ったほか、海鳥の観察会（天売島・6月）、写真家の講演（9月）、フジツボの研究者の講演（11月）等、園内外で活動を展開した。

未就学児童を対象としたプログラムとして、「かさりん体操」という水族園オリジナルの歌と踊りを製作した。ナマコ、カニ、ウニ等の海の生物にも興味を持ってもらうことを意図したもので、幼児等の親子連れを対象にした催物を行った。

企画展・イベント関係では、紙工芸作家グループの協力により「“チョキって・折って”紙のアート」展を開催したところ、好評であった。そこで、JR葛西臨海公園駅の協力で駅構内に水族園を紹介するコーナーを設置できたため、その紙工作類で展示装飾を行った。サメ類等に直接触れながら観察できる特別展「タッチン・フィーリン」は、たいへん好評であるため、ろ過設備等を増強し、20年度からの展示を継続した。

水族園の展示や活動等の事業紹介や来園動機につながる情報発信の場として、「移動水族館」を葛西海浜公園や調布飛行場等において実施し、江戸川区や葛西臨海公園等との連携で、江戸川区金魚祭りや「秋の公園フェスティバル IN 葛西」にも出展した。また、「Visit Zooキャンペーン応援プロジェクト AKB48 東京 秋祭り」を行った。

4. 井の頭自然文化園

【飼育・繁殖】

新たにムササビ、キュウシュウノウサギ、カワネズミの飼育展示を開始する等、日本産動物を中心に展示の魅力向上に努めた。飼育繁殖では、昨年に引き続きトウキョウサンショウウオ、ツチガエル、カイツブリ等の希少種の繁殖に成功した。

また、旧リス放飼実験施設の跡地を利用した「いきもの広場」の造成を行った。今後は、展示動物と野外観察の間をつなぐ自然観察入門施設として、小動物が暮らしやすい環境をつくりながら、ビオトープに集まるカエルや昆虫等の観察、ふれあいを通じて、動物の見方・探し方等を伝えるプログラムを準備していく。

【保全活動】

ズーストック種であるツシマヤマネコは既存ペアの折り合いが悪いため、ツシマヤマネコ繁殖検討委員会に諮り、10月に対馬野生生物保護センターと福岡市動植物園から、それぞれオス1頭を導入し、当園から福岡市動植物園にオス1頭を移動した。この結果、平成23年は新しいペアで繁殖に取り組む環境が整えられた。11月の2日間、ツシマヤマネコとその生息地の状況を紹介する「ヤマネコまつり」を対馬市と共催で開催し、当園職員と対馬市職員とのトークショーやツシマヤマネコ保全に取り組むNPOの活動を紹介した。

【教育普及・催物等】

5月と6月に外来生物問題の現状と今後を紹介する講演会「生物多様性と外来生物」を開催したほか、身近な自然体験につなげる観察会を実施した。

企画展として、資料館では動物の不思議を体験する「WONDER HUT」展（3月～8月）、動物園を中心とした自然環境や生物相の変遷を紹介する「センス・オブ・ノスタルジア～園長の

部屋から〜」(10月～2月)、動物画家である岩井俊夫氏の絵本を実物の動物を通して楽しむ展覧会「『100かいだてのいえ』のどうぶつたち」(12月～6月)を開催し、水生物館では昨年度に引き続き特設展示「放流の罪 ―放流をやめよう!」(2月～5月)、「カエルと私たちのこれから」(6月～9月)、「井の頭池にまなぶ～身近な水辺の変化」(11月～2月)を開催した。彫刻館では「ぶんかえんにやってくる いろんな音がやってくる」(10月～11月)と題して、三遊亭白鳥師匠と林家二楽師匠によるどうぶつえん寄席、人形劇やコンサート等、様々なイベントを開催した。

1月には「Visit Zooキャンペーン」の一環として、アジアゾウの「はな子」64歳のお祝い会を、地元市長の参加もいただき、盛大に開催した。

Ⅱ. 事業実績

〔1〕 動物飼育及び展示業務

1. 展示動物の収集・管理

(1) 動物収集業務

国内外の飼育動物等の情報収集に努め、動物交換、共同繁殖のための動物貸借（B L：ブリーディングローン）等を積極的に行った。

【主な収集動物】

園名	種名	数量	区分	摘要
恩賜上野動物園	ジャイアントパンダ	2	B L	中国野生動物保護協会
	スマトラトラ	1	譲受	カナダ トロント動物園
	ニホンカモシカ	1	譲受	安佐動物公園
	ウマ（ヨナグニウマ）	1	購入	
	ケープペンギン	2	交換	アドベンチャーワールド
多摩動物公園	ニシチンパンジー	1	B L	豊橋総合動植物公園
	シロテテナガザル	2	B L	のいち動物公園（福岡市所有） 鯖江市西山動物園
	ユキヒョウ	1	譲受	オーストリア ザルツブルグ動物園
	トウキョウトガリネズミ	3	採集	北海道浜中町
	モモイロペリカン	6	購入	
葛西臨海水族園	コーラルキャットシャーク	2	購入	
	マンボウ	2	譲受	サンシャイン水族館
	アメリカンアングラー	1	交換	アメリカ・ニューイングランド水族館
	カナディアンイールパウト	1	譲受	カナダ バンクーバー水族館
	シマフグ	1	採集	日本近海
井の頭自然文化園	アフリカタテガミヤマアラシ	1	B L	大森山動物園
	ツシマヤマネコ	2	B L	福岡市動物園 対馬野生生物保護センター
	ホンドテン	1	譲受	佐渡トキ保護センター
	フェネック	1	交換	サンシャイン水族館
	ヨツユビハリネズミ	2	購入	

(2) 動物管理業務

動物台帳の管理を適正に行ったほか、国内外における稀少種血統登録への参画や国際種情報システム機構（I S I S）への加盟により、動物管理事務の強化を図るとともに、持続可能な個体群管理に向けた取組みを進めている。

【展示動物飼育数】（平成23年3月31日現在）

園名	類	目	科	種	点	備考
上野	哺乳類	13	55	122	1,004	
	鳥類	22	68	203	859	
	は虫類	6	28	88	329	
	両生類	2	17	44	337	
	魚類	7	9	10	288	
	無脊椎動物	1	1	1	50	
	計	51	178	468	2,867	
多摩	哺乳類	10	29	64	583	
	鳥類	17	30	105	1,003	
	は虫類	2	6	9	22	
	両生類	2	2	2	119	
	魚類	2	2	11	72	
	無脊椎動物	27	62	159	44,085	昆虫綱ハチ目の社会性昆虫1科2種3群を含む
	計	60	131	350	45,884	
葛西	哺乳類	0	0	0	0	
	鳥類	2	2	6	261	
	は虫類	1	2	4	48	
	両生類	2	6	10	260	
	魚類	25	123	503	25,858	
	無脊椎動物	79	223	630	73,218	
	計	109	356	1,153	99,645	
井の頭	哺乳類	8	17	28	594	
	鳥類	13	28	94	404	
	は虫類	2	5	9	38	
	両生類	2	7	13	553	
	魚類	9	15	48	3,152	
	無脊椎動物	8	16	23	592	
	計	42	88	215	5,333	
合計					153,729	

2. 飼育展示・調査研究

(1) 日常飼育業務

動物の健康と飼育環境管理を適正に行い繁殖に努めるとともに、創意工夫により、動物の特性を引き出すための展示改善を積極的に行った。

① 主な繁殖動物

園名	動物名	出産・孵化数				備考
		オス	メス	不明	計	
上野	ニホンザル（下北）	4	2		6	
	スラウェシメガネザル			1	1	
	ハリテンレック			3	3	
	カリフォルニアアシカ	1	1		2	
	ベニイロフラミンゴ			7	7	
多摩	ケナガワラルー	1	1		2	
	アムールトラ	1	2		3	
	ライオン	3	6		9	
	ゴールドエンターキン	2			2	
	オガサワラシジミ	13	27		40	羽化数
葛西	フンボルトペンギン			8	8	
	ウミガラス			4	4	
	ツチガエル			30	30	成育数
	ファインスポッテッドジョーフィッシュ			32	32	成育数
	ウミホタル			多数	多数	成育数
井の頭	アカゲザル	3	2		5	
	アムールヤマネコ	1			1	
	ヨツユビハリネズミ	1	3	5	9	
	ニワトリ（チャーン）			3	3	
	パラワンコクジャク			2	2	

② 主な展示改善

園名	主な展示改善の件名	内容
恩賜上野動物園 合計15件	カワウソ舎における 3種混合展示	カワウソ舎の亚克力水槽を改装し、カワウソ、ニホンアナグマ、ハクビシンによる3種混合展示を開始した。
	カナダヤマアラシの 新飼育施設での展示	カナダヤマアラシの樹上展示により適した木に展示場を移動・新設。来園者の目の前で樹上での行動を観察できるようにした。

園 名	主な展示改善の件名	内 容
	特設展示「両生爬虫類鑑あし」の開催	両生爬虫類館エントランスホールにおいて両生爬虫類の「あし」をテーマに効果的な展示や解説を実施した。
多摩動物公園 合計15件	グローワームの周年発光の実現と案内看板の設置	安定した繁殖や生育法の工夫によりグローワームの周年発光展示を実現。また観客のため、薄暗い前室に案内板を設置した。
	「くらべてみようホタルの光」展におけるホタル生体展示	ウォッチングセンターにおいて、ホタルの昼夜反転飼育により、日中でもホタル3種の発光展示を実現できた。
	インドサイ展示場への水場の設置と時間差展示	インドサイ展示場の観客通路側に水場を新設。個体を時間差で入れ替えることと合わせて水浴び等の活発な行動を間近で見せることが出来た。
葛西臨海水族園 合計10件	オウサマペンギンの展示	上野動物園で飼育されていたオウサマペンギン4羽を葛西へ移動。新たに展示することでペンギン類比較展示の拡がりが増した
	ミズダコの展示	「海藻の林」水槽において世界最大のタコであるミズダコの飼育を開始。給餌法の工夫と合わせて効果的な展示を実現した。
	「南アフリカの水槽」のリニューアル	南アフリカの水槽をヤギ中心の展示から、色彩豊かなイソギンチャク中心の展示に変更し、好評を博した。
井の頭自然文化園 合計9件	アカゲザルのサル山展示での工夫	展示場にロープやハンモック等を設置。給餌法の工夫と合わせて、アカゲザルの健康的で活発な行動を引き出した。
	カワネズミの新規展示	日本産淡水魚の展示水槽内の空間を利用してカワネズミの展示場を設置。カワネズミの行動展示を実現した。
	コールダック新展示場での展示開始	新コールダック舎に動物を収容・馴致し、展示を開始した。ふれあい活動等にも活用することで来園者にも好評であった。

(2) 研究成果の発表

動物園で得られた野生動物や教育普及活動に関する情報や研究成果等について、研究会等で積極的に発信した。

① 恩賜上野動物園 (合計10件)

発表内容	担当	摘要
群れ飼育でのカリフォルニアアシカの子への餌付け	斎藤麻里子	日本動物園水族館雑誌 Vol. 51 No. 1, 2
動物園とルリカケスの域外保全	高橋幸裕	日本鳥学会2010年度大会(東邦大学)
ニシゴリラの繁殖	今西亮	第58回動物園技術者研究会(神戸市王子動物園)
The current status of captive population of <i>Nycticebus</i> spp. In JAZA (日本におけるスローリス属の最近の状況)	中村壮登	SEAZA 18th Annual Conference (インドネシア・バリ)
担当動物でつなぐキーパーズトークの実践 -動物園で伝える生物多様性	友岡梨恵	第51回日本動物園水族館教育研究会 北九州大会(到津の森公園)

② 多摩動物公園 (合計13件)

発表内容	担当	摘要
クロツラヘラサギの人工育雛飼料の改良	廣瀬格	第139回関東東北ブロック動物園技術者研究会(市川市動植物園)
ニホンコウノトリにおける骨プレートを用いた創外固定による嘴骨折治療例	田坂清	第58回動物園技術者研究会 (神戸市立王子動物園)
グローワームの周年発光・自然繁殖への取り組み	渡辺良平	建設局技術業務体験発表会 (都民ホール)
希少動物の糞を用いた性ホルモンの測定: 生息域外での繁殖計画と生息域内保全の促進に向けて(ポスター発表)	下川優紀	第15回京都大学国際シンポジウム 生物多様性と動物園・水族館 -生き物からのメッセージ
A Trial to Introduce Hand Reared Chimpanzees into a Troop	永田裕基	SEAZA 18th Annual Conference (インドネシア・バリ)

③ 葛西臨海水族園 (合計7件)

発表内容	担当	摘要
東京都多摩丘陵でのイモリの域内保全 - 繁殖場造成と個体群の回復	荒井寛	第49回日本爬虫両棲類学会 (慶應義塾大学)
ヒカリキンメダイの発光展示の工夫	中沢純一	平成22年度関東東北ブロック水族館技術者研究会(浅虫水族館開催)

発表内容	担当	摘要
シヨ糖を用いた脱窒装置の実験について	三森亮介	第20回動物園水族館設備会議 (エプソン品川アクアスタジアム)
クロマグロ(6ヵ月齢魚)の長距離トラック輸送とその後の飼育経過	池田正人	第55回水族館技術者研究会 (岐阜県世界淡水魚園水族館)
オナガガモ —その多忙な越冬生活—	福田道雄	私たちの自然(563):21-23

④ 井の頭自然文化園 (合計3件)

主な実績のテーマ	担当	摘要
フェネックの人工保育	永田典子	第139回関東東北ブロック動物園技術者研究会(市川市動植物園)
ネズミ類の外部寄生虫の治療と対策	佐藤 恵	第141回関東東北ブロック動物園技術者研究会(羽村市動物公園)
アズマヒキガエルの繁殖	中村浩司	平成22年度関東東北ブロック水族館技術者研究会(浅虫水族館開催)

(3) 共同研究

大学や研究機関と協力し、動物学、獣医学等の学術的な見地から共同研究を進めた。

提携先	提携園	研究テーマ
岐阜大学応用生物科学部	恩賜上野動物園	希少動物の保全繁殖
京都大学野生動物研究センター	恩賜上野動物園	飼育ニホンザルのDNA解析及びデータベース作成
岐阜大学	多摩動物公園	・希少動物の飼育下繁殖に向けた糞中性ホルモン測定 ・多摩動物公園における希少動物の性ホルモン分析技術の推進
横浜市環境創造局繁殖センター	多摩動物公園	希少動物の保全に関わる試験研究
東京都健康安全研究センター	多摩動物公園	サル類の腸管寄生原虫に関する研究(検査・駆除対策)
朝鮮大学校 九州大学	多摩動物公園	クロツラヘラサギの保全に関する研究(保護増殖・遺伝学的研究)
東京農業大学	多摩動物公園	食虫目動物の保全繁殖に関する共同研究

提携先	提携園	研究テーマ
麻布大学	多摩動物公園	メタゲノム解析によるオランウータン等の健常な腸内フローラの解析および新鮮な糞便からの生菌分離と禁種の同定に関する研究
日本大学生物資源科学部	葛西臨海水族園	水生生物における包括的魚病診断調査及び防疫法の確立
東京大学海洋研究所	葛西臨海水族園	クロマグロの孵化、成長、生残に及ぼす温度影響に関する共同研究について
国立極地研究所	葛西臨海水族園	<ul style="list-style-type: none"> ・南極海に生息する魚類の繁殖および摂餌成体に関する共同研究 ・フンボルトペンギンの潜水活動と気温の関係についての研究
独立行政法人 森林総合研究所	葛西臨海水族園	イモリの保全及びその生態学的研究
	井の頭自然文化園	ニホンイモリの保全生態学的研究
北海道大学大学院水産科学院	葛西臨海水族園	繁殖期におけるエトピリカおよびウミガラスの餌選択戦略の解明についての研究
明治大学農学部	葛西臨海水族園	<ul style="list-style-type: none"> ・フンボルトペンギンの親子及び家系関係に関する研究 ・国内飼育フンボルトペンギンの遺伝的な近縁関係の解明における研究
東海大学医学部	葛西臨海水族園	ペンギン類の遺伝子解析に関する研究
東邦大学	葛西臨海水族園	葛西臨海水族園周辺感潮域干潟生物多様性調査共同研究
日本獣医生命大学 獣医臨床繁殖学教室	井の頭自然文化園	希少野生ネコ科動物における人工繁殖技術の研究

(4) 飼育展示・教育普及研究会の開催

園内及び4園館相互での情報交換と共有化を積極的に進めるとともに、研究発表等に積極的に参加することによる職員の能力向上の機会を設けるため、各園で飼育展示・教育普及担当者による研究会を毎月開催した。

3. 動物病院業務

飼育職員と連携して病気等の予防策を講じるとともに、異常の早期発見に努め、適切な治療を行った。また、検疫業務、病理解剖、検体の保存等を行った。

【診療件数及び検疫件数】

園名	年間診療件数		年間検疫件数	
	治療	死亡	種数	頭数
恩賜上野動物園	8,912	68	100	452
多摩動物公園	10,348	58	36	79
葛西臨海水族園	15	2	2	11
井の頭自然文化園	5,331	54	38	75

※葛西については、上野の動物病院獣医師が実施。

4. 施設維持管理・園内サービス

(1) 園内施設・設備の維持管理

① 定常的維持管理

施設や設備を適切に保守し、利用者の安全と快適性を確保するために、以下の園内施設の維持管理業務を実施した。

園名	主要施設	主要維持管理業務
恩賜上野動物園	<ul style="list-style-type: none"> 敷地面積：143千㎡ クマ舎、ゾウ舎、アイアイのすむ森等 両生爬虫類館 動物園ホール 不忍池 	<ul style="list-style-type: none"> 設備更新（水処理、ボイラー、空調、暖房 他） 補修工事（動物舎、漏水、排水、園内不陸 他） 設備保守（機械、水処理、放送、動物脱出防止柵 他） 不忍池水質管理 設備点検 保護管理（植込地、花壇） 危険樹点検対応 他
多摩動物公園	<ul style="list-style-type: none"> 敷地面積：601千㎡（含む七生公園） オランウータン舎、コアラ館等 ライオン園 他 昆虫生態園 丘陵地 	<ul style="list-style-type: none"> 設備更新（水処理、ボイラー、空調、暖房 他） 補修工事（動物舎、漏水、排水、園内不陸 他） 設備保守（機械、水処理、放送、動物脱出防止柵 他） 設備点検 枯損木処理 保護管理（植込地、芝生地、花壇） 他
葛西臨海水族園	<ul style="list-style-type: none"> 敷地面積：86千㎡ マグロ水槽（2000t）、ペンギン池 他 ポンプ（水処理用234台、給排水用56台） 	<ul style="list-style-type: none"> 設備更新（冷凍機、水処理 他） 補修工事（水槽、漏水、排水、園内不陸 他） 設備保守（中央監視、水処理、展示システム、排水処理、オゾン設備 他） 設備点検 保護管理（植込地、芝生地、花壇） 他
井の頭自然文化園	<ul style="list-style-type: none"> 敷地面積：116千㎡ 大放飼場 彫刻館 リスの小径 熱帯鳥温室 資料館 	<ul style="list-style-type: none"> 設備更新（水処理、ボイラー、空調、暖房 他） 補修工事（動物舎、漏水、排水、園内不陸 他） 設備保守（機械、水処理、放送 他） 設備点検 保護管理（植込地、花壇） 危険樹点検対応 他

② 集中的維持管理

利用者サービスの向上を目標に動物のライフラインの確保等を含め、便所等の便益施設や、休憩施設を中心に集中的な修繕を行った。

園名	No.	修繕施設	概要
上野	1	西園東照宮門脇便所	便器の洋式化・車椅子対応
	2	動物舎屋外展示施設	塗装補修
	3	放飼場管理通路	サイ管理扉補修
	4	水処理施設	中央広場ポンプ補修
	5	園内各所	園路の補修 ツリーサークルの修繕
多摩	1	園内照明灯	マレーバク、水鳥周辺他照明設備増設
	2	昆虫生態園	漏水補修
	3	ウォッチングセンター設備	情報機器更新
	4	I T V設備	アフリカゾウ I T V設備更新
	5	園内各所	放飼場ほか照明補修
葛西	1	チラーユニット	低温チラーユニット分解整備 本館チラーユニットオーバーホール
	2	送風機	フィルター室内送風機修繕
	3	展示水槽通路	天井塗装他部分補修
	4	汽水池着水ポンプ	配管補修
	5	中央監視室	内装補修
	6	お弁当広場手洗い	本体及び給排水設備補修
	7	園内各所	水槽ガラス補修、敷石の補修
井の頭	1	通用門	車両消毒装置設置
	2	園地	支障樹木剪定・伐採
	3	童心居	内装修繕
	4	熱帯鳥温室	樹木、散水設備他補修
	5	管理事務所内	授乳室補修
	6	本園	雨水排水、不陸の解消

(2) 園内の保安及び環境美化

① 園内巡回警備

巡回警備による整理・誘導、防犯等、入園者の安全に配慮して実施した。繁忙期には増員により対応した。

② 園内清掃及び廃棄物搬出

園内美化を図り、園内の清掃及び収集したゴミ等の廃棄物を園外へ搬出した。また、搬出した寝藁等は専門施設においてリサイクルし、肥料化した。

(3) 災害時対策

災害時に備えた訓練として、多摩動物公園において、地震でアムールトラ運動場の木が倒れ、アムールトラ1頭が脱出したという想定により、猛獣脱出対策訓練を2月に実施した。

また、勤務時間外の地震発生を想定した職員の参集訓練を実施し、園本部の立ち上げや各園及び関係機関との連絡方法を把握するとともに、園内の点検、非常用発電機の使用手順の確認等を行った。

台風や大雨等の気象警報発令時等には、巡回点検や職員の事務所待機を行い災害時に備えた。

(4) 入園券の売改札及び利用案内・園内サービス

① 入園券の売改札

入園券の売改札、年間パスポートの販売を行った。

【入園者数】

(単位：人)

区 分		上野	多摩	葛西	井の頭	合計	摘 要	
有 人	大 人	1,198,230	349,999	577,917	311,548	2,437,694		
	中学生	36,650	1,566	8,952	448	47,616		
	65歳以上	95,989	29,503	37,502	36,337	199,331		
	計	1,330,869	381,068	624,371	348,333	2,684,641		
料 団 体	大 人	95,568	74,490	101,078	8,271	279,407	20人以上	
	中学生	576	320	1,007	2	1,905	〃	
	65歳以上	1,475	968	10,611	840	13,894	〃	
	計	97,619	75,778	112,696	9,113	295,206		
小 計		1,428,488	456,846	737,067	357,446	2,979,847		
無 料	個 人	小学生以下	879,434	253,615	447,480	209,177	1,789,706	
		中学生	19,386	4,548	20,977	4,658	49,569	都内在住在学
		計	898,820	258,163	468,457	213,835	1,839,275	
	団 体	幼 児	70,524	63,380	40,284	21,395	195,583	
		小学生	45,801	57,925	57,111	14,855	175,692	
		中学生	56,940	2,804	16,745	358	76,847	
		計	173,265	124,109	114,140	36,608	448,122	
	特免等		58,165	25,226	34,302	22,878	140,571	身体障害者等
	その他		118,634	55,879	65,976	42,640	283,129	無料開園日等
	小 計		1,248,884	463,377	682,875	315,961	2,711,097	
合 計		2,677,372	920,223	1,419,942	673,407	5,690,944		

【年間パスポート販売状況】

園名	販売実績	摘要
恩賜上野動物園	14,158 枚	一般2,400円、65歳以上1,200円
多摩動物公園	5,070 枚	〃
葛西臨海水族園	2,157 枚	一般2,800円、65歳以上1,400円
井の頭自然文化園	10,112 枚	一般1,600円、65歳以上 800円
合計	31,497 枚	

② 有料施設等の占用等の申請受付と料金徴収

園内での写真撮影や集会所の使用申請の受付事務と入園料、使用料、占用料の徴収及び東京都への納付事務を行った。

【入園料金の徴収】

園名	収納額	摘要
恩賜上野動物園	770,559,400 円	大人600円、中学生200円、65歳以上300円
多摩動物公園	236,642,680 円	〃
葛西臨海水族園	471,136,210 円	大人700円、中学生250円、65歳以上350円
井の頭自然文化園	112,885,960 円	大人400円、中学生150円、65歳以上200円
合計	1,591,224,250 円	

【占用料・使用料の徴収】

園名	収納額	摘要
恩賜上野動物園	488,800 円	占用料（写真撮影等）
多摩動物公園	313,500 円	〃
葛西臨海水族園	112,200 円	〃
井の頭自然文化園	660,050 円	占用料・使用料（資料館・童心居）
合計	1,574,550 円	

③ 利用案内・園内サービス

園内における利用者案内、迷子相談、園内放送、救急救護、身障者用車椅子の貸出等のサービスや拾得物・遺失物対応を実施したほか、園外からの電話による問い合わせに対応、園内案内図、案内板の更新を行った。また、GWや春休みの繁忙対策として、上野、多摩で仮設トイレを設置した。

東京動物園ボランティアーズのサービスガイドグループとの協働により、園内案内サービスや園内催物を実施した。

【園内利用案内】

園名	迷子	放送	救護	車椅子	遺失物届	拾得物届
上野	624	3130	521	704	371	2,746
多摩	115	2,968	549	318	527	3,739
葛西	276	1,346	255	703	506	2,726
井の頭	163	162	250	181	282	821
合計	1,178	7,606	1,575	1,906	1,686	10,032

(5) 利用促進・PR活動

ホームページや様々な印刷物、DM 発送等により、利用促進活動を行った。また、今後の運営に生かすため、ブラインドモニターによる利用者サービスの評価検証を実施した。

① 利用促進・PR

事項	摘要
ホームページ	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ「東京ズーネット」に4園の開園カレンダーを表示し、各園開園日をわかりやすく情報提供した。 ・ジャイアントパンダの魅力を伝えるホームページ「UENO-PANDA.JP」を開設し、併せてジャイアントパンダ保護サポート基金に関する情報発信を行った。 ・協会による「東京めだか」の調査結果やメダカに関する様々な情報を提供する「東京メダカMAP」を作成し、ホームページで閲覧できるようにした。
広告物	<ul style="list-style-type: none"> ・車内広告（4園共通 11,870枚）、駅貼りポスター（上野：109駅、多摩155駅、葛西10駅、井の頭70駅）、駅サインボード広告（多摩6件、葛西6件、井の頭1件）を作成し、掲示した。 ・4園をPRするポスターを制作し、海外からの来園者誘致のために羽田空港国際線ターミナルの最寄り駅に掲示した。

事 項	摘 要
ダイレクトメール	幼稚園・保育園、学校、旅行代理店へのダイレクトメール発送 (4園共通 11,400件)
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・繁忙期における休園日の臨時開園（上野15日、多摩5日、葛西8日、井の頭6日）、開園時間延長（上野25日、多摩14日、葛西17日、井の頭14日）を実施した。 ・(社)日本玩具協会が主催する「東京おもちゃショー」(7月17日,18日)に4園合同で参加し、パネルやハツカネズミの展示等によって都立動物園の宣伝を行った。 ・「Visit Zooキャンペーン」応援イベントとして、JR東日本主催、当協会及び京王電鉄(株)・多摩モノレール(株)との共催によるイベント「電車でまわろう！動物園・水族園スタンプラリー」を3月1日から開催したが、東日本大震災の影響によって中止となった。

② ブラインドモニターによる評価検証

園 名	調 査 人 数 ・ 実 施 日 数
上 野	9名、6日実施 (9/12,19,25,10/2,9,23)
多 摩	9名、5日実施 (9/12,26,10/3,9,10)
葛 西	9名、6日実施 (9/4,11,23,25,10/9,10)
井 の 頭	9名、6日実施 (9/4,18,25,26,10/3,24)

(6) 広報広聴

園内動物の繁殖や催物等についての広報発表、取材対応のほか苦情や意見への対応を行った。

① 主な広報発表

園 名	発 表 日	件 名
上 野	22. 4. 22	ニシローランドゴリラの赤ちゃん「コモモ」公開！！
	22. 6. 1	Visit Zoo キャンペーン キックオフイベントを開催します！
	22. 7. 26	ジャイアントパンダ保護研究実施の協力協定書に調印しました
	22. 12. 22	アジアゾウ「アーシャー」の妊娠が確定しました！
	23. 2. 22	ジャイアントパンダが来園しました！
	その他、合計 35 件	

園名	発表日	件名
多摩	22. 5. 13	5月22日は国際生物多様性の日です！「アリからゾウまで出会えるところ」多摩動物公園で生物の多様性を感じてください
	22. 6. 24	一行こうよ！夜の動物園ーサマーナイト@TamaZoo
	22. 7. 22	寅年にトラの赤ちゃんが生まれました
	22. 11. 11	BL成果！！ユキヒョウ「ユッコ」がやってきます！！
	22. 12. 22	保全フォーラム開催！
	その他、合計 39 件	
葛西	22. 5. 13	「2010年 夏の科学教室」
	22. 7. 8	夏休み企画展「昆虫水族館～里山のなかまたち～」開催
	22. 8. 12	うたって、おどろう！「ウニ」☆「カニ」☆「ナマコ」
	22. 9. 28	秋の公園フェスティバル IN 葛西 Vizit Zooキャンペーン・葛西臨海水族園
	21. 11. 11	「WILD LIFE ART 展2010」開催
	その他、合計 20 件	
井の頭	22. 4. 22	開園記念日の井の頭自然文化園で楽しもう！
	22. 7. 22	「夏のライブ イン ワンダー ズー」
	22. 9. 30	「ヤマネコまつり～ツシマヤマネコを知ろう」を開催！
	22. 12. 22	アジアゾウのはな子64歳のお祝い会を開催します！
	23. 2. 10	「大人のためのゆったりガイドツアー」参加者募集
	その他、合計 21 件	

② 苦情・意見への対応

園内に設置した意見箱やホームページ「東京ゾーネット」に寄せられた苦情・意見について、関係部署へ周知するとともに対応策を検討し、園内環境やサービス等の改善に努めた。

〔2〕野生生物保全業務

「野生生物保全センター」を都立動物園・水族園の野生生物保全活動の中心に位置付け、保全活動、情報収集、調査研究及び普及啓発活動を実施した。

項 目	内 容
動物園内における 保全活動 (域外保全)	<p>①アイアイやトキ、ニホンコウノトリ、日本産カエル類、トビハゼ等の希少動物の繁殖に継続して成功している。また、オランウータン、ツシマヤマネコ、スマトラトラ等についてペアリングに取り組み、繁殖と系群保全に努めた。</p> <p>②環境省の保護増殖事業に協力し、ツシマヤマネコ人工繁殖のため近似種でのシミュレーションを続けている。また、繁殖に成功したトキ3羽を佐渡トキ保護センターへ搬出した。</p> <p>③オガサワラシジミの卵を現地で採取し、羽化させた個体を用いての交尾に成功、第3世代まで飼育を継続することができた。</p>
フィールドに おける保全活動 (域内保全)	<p>①多摩市のニホンイモリ生息地において、生息状況調査を継続して実施し、その生態解明に努め、保全のための新たな課題を抽出した。</p> <p>②小笠原に生息するアカガシラカラスバトの標識調査の際、採取したサンプルを用いて性別やDNAの型の判別し、フィールドの研究者と情報を共有した。</p> <p>③現地でオガサワラシジミの保全活動を行うNPOの活動支援を支援し、食草のオオバシママラサキの栽培や密猟者対策等に努めた。</p>
生物学技術を 応用した保全活動	<p>①鳥類、哺乳類の性判別をDNA解析技術を用いて約67種について実施。東京の野生メダカの地域個体群の解析を行った。遺伝子解析装置を用いて希少鳥類のDNA解析を実施した。</p> <p>②人工授精技術を用いて自然交尾不能なソデグロヅルのペアから2羽のヒナふ化に成功した。</p> <p>③EIA法による糞中の性ホルモン測定を実施。シマウマ等の妊娠判定やトキやツシマヤマネコの繁殖生理の解明に役立てている。</p>
情報収集	<p>CBSG（保全繁殖専門家グループ）年次総会やSEAZA（東南アジア動物園協会）総会等に、職員を派遣し情報収集に努めた。</p>
調査研究	<p>京都大学国際シンポジウムにおいて、「希少動物の糞を用いた性ホルモンの測定」、「クロツラヘラサギの飼育下個体群の創設」というタイトルでポスター発表を行った。</p>
普及啓発活動	<p>①多摩市の小学校による校外学習と連携し、イモリの保全活動について教育的な普及啓発活動を行った。</p> <p>②保全フォーラム「野生動物を守る 一地域と動物園の連携」を開催、関係自治体等の協力を得て企画展、シンポジウム等を実施した。</p> <p>③ツシマヤマネコをよりよく知るための企画「ヤマネコまつり」を井の頭自然文化園で開催した。</p>

〔3〕教育普及業務

来園者がより有意義に観察できるよう、各種プログラムを整備し、動物やその生息環境の情報を伝えるとともに、学校との連携やボランティア団体との協働等により普及活動に努めた。

1. 国際生物多様性年における取組み

2010年は国連が定める「国際生物多様性年」にあたり、10月には生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）が開催された。この機を捉え、展示や催物を通じた情報発信をより一層充実させ、生物多様性の重要性を広くアピールした。

また、12月の国連総会において2011年から2020年を「国連生物多様性年の10年」とする決議が採択されたことを受け、当協会はこの決議に賛同し、生物多様性を守るための活動を今後も進めていく趣旨表明として、「生物多様性保全活動宣言」を発表した。

【各園の取組み】

園 名	内 容
恩賜上野動物園	<ul style="list-style-type: none"> ・国際生物多様性年講演会「日本の生物多様性を創る野生動物と私たちの関わり」、「地球環境に動物園が果たす役割 ー環境動物園」を実施 ・もったいないばあさんのワールドレポート「生きものがきえる」展を開催して絶滅が心配されている動物たちのイラストを展示するとともに、ギャラリートークを実施 ・「真夏の夜の動物園」において「君をまつ！500種類のなかまたち」と銘打ち、キーパーズトークやミニトークショー等を実施 ・国際生物多様性年企画展「スタンプ&フィギュアで見るレッドリストの動物たち」を開催
多摩動物公園	<ul style="list-style-type: none"> ・国際生物多様性年に関連した内容のキーパーズトークを周年実施 ・動物園が行っている生物多様性保全への取組みについて紹介する企画展「みんな仲間 ー動物園の生物多様性」を開催 ・国際生物多様性年にちなみ「いろいろな生き物」をテーマとした子供写生画コンクールを開催 ・園内の雑木林に注目したイベント「雑木林の一年」を開催し、季節の植物や昆虫の観察会等を実施 ・国際生物多様性年にちなみ「もう見られなくなってしまった生き物たち ー過去100年を振り返って」をテーマに「りかび展」を開催 ・保全フォーラムシンポジウム「野生動物を守る ー地域と動物園の連携」を開催 ・保全フォーラム連動の企画展「地域で守る・動物と自然」を開催

葛西臨海水族園	<ul style="list-style-type: none"> ・国際生物多様性年講演会「深海のオアシス ―熱水とともに生きる不思議な生物」、「北太平洋の海に生きる」、「フジツボの不思議」―フジツボって、エビやカニの仲間だったの？」を実施 ・メダカを取り巻く環境や「東京めだか」について紹介するイベント「メダカの学校 2010」を開催するとともに、ホームページ「東京ズーネット」上で「東京メダカMAP」等の情報を発信
井の頭自然文化園	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会「生物多様性と外来生物 ―今、何が起きているのか？何をやっているのか」において、「井の頭池の外来生物、「外来生物問題を考える ―魚を例にして」、「私たちの身近な外来生物」、「沖縄の外来生物問題 ―マングース・イエネコを例に」の講演を実施 ・カエルが減ってしまった理由とその影響等を紹介する水生物館特設展示「カエルと私たちのこれから」を開催

2. 園内プログラム

(1) 動物解説業務（園内ガイドツアー・団体指導ほか）

各園に配置した動物解説員により、一般来園者を対象とした園内ガイドツアー及び小学生等の団体を対象とした動物解説のほか、夏休み期間その他に特別企画等を実施した。

区 分	実 施 内 容	
1. 一般来園者へのガイド	内 容	テーマを設定し、園内を案内しながら動物の解説を行った。（1回約45分間）
	実施件数	上野241件、多摩182件、葛西493件、井の頭112件、4園合計1,028件
	参加者数	上野3,607人、多摩1,895人、葛西4,264人、井の頭1,258人、4園合計11,024人
2. 団体指導	内 容	団体の要望等を事前に調整の上、プログラムを実施した。特に学校団体については、学校教育と動物園との連携を図り、教育活動の一環として役立つプログラムを実施した。
	実施件数	上野207件、多摩199件、葛西167件、井の頭77件、4園合計650件
	参加者数	上野16,616人、多摩14,202人、葛西10,824人、井の頭5,083人、4園合計46,725人
3. 団体引率者への事前指導	内 容	課外授業や修学旅行引率のために事前来園する教員等を対象として、動物園における教育プログラムを提示・説明した。
	実施件数	上野245件、多摩855件、葛西205件、井の頭92件、4園合計1,397件

区 分	実 施 内 容	
4. 特別企画	内 容	春夏休み期間を中心に、子供や親子連れを対象にクイズラリーやオリジナル観察シートを活用したセルフガイド、生物研究等の特別企画を行った。また、多摩では小学校を中心に教材の貸出しを実施した。
	実施件数	上 野 生物研究4回、クイズラリー4回、 サンデークイズ3回 多 摩 教材貸出し702件、タイムリーガイド・フリーガイド125件、観察シート配布、観察デー11回 葛 西 フィッシュレンジャーほか9回 井の頭 生物研究11回
5. 大人のための動物園・水族園	内 容	事前申し込みにより、大人を対象として「観察の仕方」を行った。
	実施時期	多摩 11月・12月・3月、葛西 9月
6. その他	各園において動物解説事業と連携し、サマースクールをはじめとした各種普及活動の指導・企画展示用テキスト作成等を行った。 上野・多摩で動物園の見所を紹介するニュースレター（A4表裏・月1回配布）を制作した。	

(2) 動物相談室の運営

恩賜上野動物園、多摩動物公園内の動物相談所において、来園者及び電話・書簡による相談に応じた。

園 名	電 話	来 園	書 簡	計	摘 要
恩賜上野動物園	3,535	1,260	57	4,852件	飼育802 動物園1,213 生態1,407 保護202 鳥獣害236 その他1,714
多摩動物公園	913	505	6	1,424件	飼育391 動物園198 生態403 保護96 鳥獣害108 その他579
計	4,448	1,765	63	6,276件	

(3) 通年プログラム、企画プログラム、特別展・企画展の実施

① 通年プログラム

園名	内容
恩賜上野動物園	①キーパーズトーク（カリフォルニアアシカほか901件） ②モルモットのふれあい（周年、子ども動物園で実施） ③スタディシート（2種配布）
多摩動物公園	①キーパーズトーク（各月のテーマに沿って実施、324件） ②モルモットのふれあい（周年実施） ③スタディシート（10種配布）
葛西臨海水族園	①キーパーズトーク（マグロほか487件） ②スタディシート（27種配布） ③ボトルウォッチング（周年実施） ④水族園オリエンテーリング（月1～2回）
井の頭自然文化園	①キーパーズトーク（特設展に合わせた動物解説ほか78件） ②モルモットとのふれあい（毎日） ③ダックさんにお弁当（月1～2回） ④スタディシート（5種配布）

② 企画プログラム

園名	内容
恩賜上野動物園	①季節イベント 「春休み期間の催し」（～4/5） 「春の全国交通安全運動イベント」（4/10） 「冬至イベント」（12/22） 「クリスマスイベント」（12/25） 「新年イベント」（1/2～3） ②飼育の日イベント（4/18） ③もったいないばあさんのワールドレポート「生きものがきえる」展（5/22～6/30） ④真夏の夜の動物園（8/10～16） ⑤東京文化財ウィークの催し（10/30～11/7）
多摩動物公園	①季節イベント 「落ち葉のプール」（11/25～1/4） 「クリスマスイベント」（11/26～12/28） 「新年イベント」（1/2～3） ②飼育の日イベント（4/17～19） ③「くらべてみようホタルの光」展（5/29～6/15） ④「サマーナイト@Tama Zoo」（8/1, 7, 8, 13, 14, 15, 21, 22, 28, 29） ⑤東京文化財ウィークの催し（10/30～11/7）

園名	内容
	⑥その他 「お絵かき教室」「日野市ぐるっと！紅葉ウォーキング」 「落ちないオランウータンのげんかつぎ」等
葛西臨海水族園	①季節イベント 「大空を泳ぐ「深海魚のぼり」」(4/1～5/5) 「クリスマスイベント」(12/13, 14, 16, 17) 「新年イベント」(1/2～4) 「バレンタインデーイベント」(2/11) ②飼育の日イベント(4/17～19) ③田んぼマスター・クイズに挑戦(5/3, 5) ④おいでよ！夏の水族園(8/7, 13, 21, 22) ⑤キッズカレンダー2010配布(12/4, 5) ⑥「かさりん体操」の時間(12/12, 26 1/23 2/13, 27) ⑦水族園スタンプラリー(5/8～30 7/17～31 3/5, 6, 13)
井の頭自然文化園	①飼育の日イベント(4/18) ②開園記念日イベント 「ライブ・イン・ワンダー・ズー」(5/16) 「クイズラリー「どうぶつのワンダーをさがそう」」(5/16, 18) 「園長といっしょに動物園たんけん」(5/16, 18) ③夏のライブインワンダーズー(8/14, 15) ④文化園コンサート“ぶんかえんにやってくる いろんな音がやってくる”(10/3, 10, 17, 24, 31, 11/3) ⑤東京文化財ウィークの催し(10/30～11/7) ⑥ヤマネコまつり(11/20～21) ⑦新年イベント(1/2～3) ⑧アジアゾウ「はな子」64歳のお祝い会(1/29)

③ 特別展・企画展

園名	内容
恩賜上野動物園	①両生爬虫類館特別展「両生爬虫類鑑 あし」(22/3/16～12/26) ②ズーポケット展示 「旅する鳥たち」(7/13～9/12) 「東京藝術大学学生による動物アート」展(9/18～10/31) 「スタンプ&フィギュアで見るレッドリストの動物たち」(11/9～28) 「東京藝術大学学生による動物日本画」展(12/7～19) 「ウサギのポケット・ハウスへようこそ！」(12/21～1/30) 「河馬博覧会」(2/15～5/8)

園名	内容
多摩動物公園	①みんな仲間 ―動物園の生物多様性 (6/17～12/7) ②秋の鳴く虫展 (9/2～28) ③りかび展 (9/2～28) ④地域で守る・動物と自然 (2/3～3/14)
葛西臨海水族園	①深海生物展「あなたの知らない深世界」(3/20～5/11) ②「“チョキって・折って”紙のアート」展(7/23～30) ③夏休み企画展「昆虫水族館～里山のなかまたち～」(8/7～29) ④WILD LIFE ART展2010(12/27～1/16)
井の頭自然文化園	①放流の罪 ―放流をやめよう！(2/27～5/23) ②WONDER HUT ―どうぶつのふしぎがいっぱい(3/24～8/31) ③カエルと私たちのこれから(6/26～9/26) ④センス・オブ・ノスタルジア～園長の部屋から(10/26～2/27) ⑤井の頭池にまなぶ ～身近な水辺の変化～(11/2～2/6) ⑥『100かいだてのいえ』のどうぶつたち(12/21～6/26)

(4) その他の企画プログラム

「国際博物館の日」催物

国立科学博物館、東京国立博物館、恩賜上野動物園の連携により、動物園・博物館自然史・文化セミナー（講座と動物観察）を実施した。

実施月日	内容	摘要
5月23日	<p>【テーマ】「上野の山でツルめぐり」</p> <p>【内容】①観察「ツルのかたち・動き・くらしを観る」 小泉祐里（恩賜上野動物園）</p> <p>②講義：「ツルの科学」 西海功（国立科学博物館）</p> <p>③講義：「吉祥文様のツル」 神辺知加（東京国立博物館）</p>	<p>博物館で講演と見学、動物園で観察と解説を実施</p> <p>参加者数30名</p>

3. 体験プログラム・フィールドプログラム

動物やその生息環境について、来園者が有意義に観察し、楽しみながら学べるよう、各種プログラムを企画し、実施した。

(1) 体験プログラム

園名	内容
恩賜上野動物園	①サマースクール (7/27～30) ②大人のための1日飼育体験 (2/20, 22)
多摩動物公園	①サマースクール (7/22,23,26,27) ②大人のための動物園 第1回 (11/30, 12/2, 3, 4) 第2回 (3/1, 3, 4, 5) ③サイエンズカフェ (1/15, 29, 2/12, 26)
葛西臨海水族園	①モーニングアクアリウム (4/11,25,5/9,23,6/13,27) ②フィッシュレンジャーKids (小学1・2年生が対象) (7/22～24) ③フィッシュレンジャーJr. (小学3・4年生が対象) (7/30, 31, 8/24, 25) ④フィッシュレンジャー (小学5・6年生が対象) (7/27,8/10,11) ⑤大人のための夜の観察会 (9/18, 19)
井の頭自然文化園	①文化園生き物クラブ (周年実施) ②サマースクール (7/22, 23, 26, 27, 8/5, 6) ③ツシマヤマネコミニ講座 (11/20)

(2) フィールドプログラム

園名	内容
恩賜上野動物園	セミとコウモリの観察会 (8/8) 於：上野動物園西園
多摩動物公園	①ムササビ観察会 (8/29) 於：多摩動物公園、高尾山 ②初心者野鳥観察会 (3/13) ※東日本大震災等の影響により中止
葛西臨海水族園	①干潟の生物観察会 (5/15) 於：葛西海浜公園「西なぎさ」 ②アマモ場の生物観察会 (5/29) 於：千葉県富津海岸 ③リバーウォーク (7/4, 18) 於：葛西臨海水族園「水辺の自然」
井の頭自然文化園	①親子で里山どうぶつ観察 (5/30) 於：青梅市永山丘陵 ②親子で川遊び ―生き物のつかまえ方・飼い方 (7/19) 於：東京都立野川公園 ③親子で井の頭池たんけん (9/19) 於：井の頭自然文化園

(3) 講演会・上映会

動物園・水族館及び自然、野生動物の知識を深めるために、広く一般を対象に、講演会・上映会を実施した。

① 動物園講演会

実施月日	内 容	演 題 ・ 講 師	参加者
4月29日	国際生物多様性年講演会（上野動物園）①	「日本の生物多様性を創る野生動物と私たちの関わり」横山真弓（兵庫県立大学准教授）	86名
5月16日	生物多様性と外来生物（井の頭自然文化園）①	講演1「井の頭池の外来生物」井の頭自然文化園水生物館飼育展示係職員 講演2「外来生物問題を考える 一魚を例にして」瀬能宏（神奈川県立生命の星・地球博物館）	43名
6月5日	国際生物多様性年講演会（上野動物園）②	講演「地球環境に動物園が果たす役割 ー環境動物園」小宮輝之（恩賜上野動物園長）	57名
6月13日	生物多様性と外来生物（井の頭自然文化園）②	講演1「私たちの身近な外来生物」井の頭自然文化園本園飼育展示係職員 講演2「沖縄の外来生物問題 ーマングース・イエネコを例に」長嶺隆（NPO法人どうぶつたちの病院）	81名
7月19日	国際生物多様性年講演会（葛西臨海水族園）①	「深海のオアシス ー熱水とともに生きる不思議な生物」土田真二（独立行政法人海洋研究開発機構）	73名
9月26日	国際生物多様性年講演会（葛西臨海水族園）②	「北太平洋の海に生きる」寺沢孝毅（自然写真家）	41名
11月3日	国際生物多様性年講演会（葛西臨海水族園）③	「フジツボの不思議」ーフジツボって、エビやカニの仲間だったの？」倉谷うらら	44名
2月6日	保全フォーラムシンポジウム	講演1「ニホンカワウソの絶滅に学ぶ 希少動物保護の5W1H」安藤元一（東京農業大学農学部野生動物学研究室教授） 講演2「各地域の報告」東京都小笠原村、長崎県対馬市、新潟県佐渡市、北海道浜中町	207名

② 他団体との共催講演会

実施月日	2月6日
行事名	ゾウオロジー2011
共催	ゾウオロジー実行委員会
会場	恩賜上野動物園 動物園ホール
参加者数	115名
内容	<p>「ゾウの芸術鑑賞のすすめ」 入江尚子（総研大）</p> <p>「狩る・食う・尊ぶ、バカ・ピグミーのマルミミゾウ狩猟」 林耕次（神戸学院大）</p> <p>「遺伝子に刻まれたゾウのきた道」 米澤隆弘（復旦大）</p> <p>「アジアゾウの婚活、アーシャーの移動と豊橋での新婚生活」 鈴木千尋（豊橋動物園）</p>

実施月日	2月12日
行事名	シンポジウム「日本のクマを考える」
共催	日本クマネットワーク
会場	恩賜上野動物園 動物園ホール
参加者数	162名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・2010年秋の日本各地でのクマ類の出没状況の概況 <ul style="list-style-type: none"> 「クマの出没は全国で一律に起こっていた訳ではない」 山崎晃司（茨城県自然博物館） 「近畿地方での未曾有の大量出没」 片山敦司（野生動物保護管理事務所） 「福井県での出没と堅果豊凶の関係」 水谷瑞希（福井県自然保護センター） ・ツキノワグマ管理へのチャレンジ <ul style="list-style-type: none"> 「長野県における地域的な大量出没とその対応」 岸元良輔（長野県自然保護研究所） 「クマ出没情報の地域住民との共有」 野崎英吉（石川県自然保護課）

	「放獣と報道（マスコミ）への情報提供」 西信介（鳥取県公園自然課） 「長野県におけるツキノワグマの保護管理システム」 佐藤繁（長野県下伊那地方事務所） ・総合討論（司会：大井徹〔森林総合研究所〕）
--	--

③ 上映会

実施月日	内 容	作 品	参加者
8月14日 15日 21日 28日	動物ドキュメンタリー映画上映会 (多摩動物公園)	「オオカミと生きる」 「伝説の動物 ユキヒョウ」	計465名

4. 学校教育との連携

(1) 各園受入れ実績

園 名	内 容
恩賜上野動物園	①教員研修（4園共同、11回延べ299名） ②職場訪問（108件766名） ③職場体験（8件33名） ④団体指導（207件16,616名） ⑤都立高校「奉仕の時間」受入（16時限10名） ⑥大学ほか実習生の受入・指導（都立園芸高校含む）（50名） ⑦インターンシップ受入（2名） ⑧出張授業（7回）
多摩動物公園	①教員研修（4園共同、11回延べ299名） ②職場訪問（13件53名） ③職場体験（10件31名） ④団体見学指導（199件14,202名） ⑤都立高校「奉仕の時間」受入（43名） ⑥大学ほか実習生の受入・指導（47名） ⑦出張授業（7回）
葛西臨海水族園	①教員研修（4園共同、11回延べ299名） ②職場訪問（36件232名） ③職場体験（5件13名） ④教材貸出（39件2,062本） ⑤大学ほか実習生の受入・指導（11名） ⑥インターンシップ受入（1名）

園 名	内 容
井の頭自然文化園	①教員研修（4園共同、11回延べ299名） ②職場訪問（7件31名） ③職場体験（13件26名） ④教材貸出（71件） ⑤大学ほか実習生の受入・指導（11名） ⑥出張授業（5回）

（2）学校教員セミナーの開催

小学校教員を対象に、各園において飼育展示動物の素顔や展示の工夫等を紹介し、校外学習で利用するポイントと授業へのヒントを探る講座とワークショップを開催した。

【講座と実習】

実施月日	内 容	講 師	参加者
8月3日	観察シートで動物観察	多摩動物公園教育普及課、飼育展示課	51名
8月5日	動物園活用法	恩賜上野動物園教育普及課、飼育展示課	46名
8月2日 5日 6日 9日	水の生き物を飼育する 授業に役立つ水族園講座 " 水族園をまるごと体験	葛西臨海水族園飼育展示課	計66名

【ワークショップ】

実施月日	内 容	講 師	参加者
7月30日 8月12日	3年生理科の昆虫 動物の骨格	多摩動物公園教育普及課	計39名
8月17日 18日 19日 20日	文化園学習利用コース いきもの飼い方コース 動物解説実習コース 身近ないきもの観察コース	井の頭自然文化園	計97名

5. 友の会運営

動物園・水族園への関心を高めるとともに、広く自然科学への興味を育ててもらうために組織している「東京動物園友の会」の運営を行った。

名 称	東京動物園友の会
会 員 数	一般：3,053名 ジュニア：207名（平成23年3月31日現在）
実施事項	①新規入会、継続手続等、受付・管理事務 ②季刊雑誌「どうぶつと動物園」及びジュニア向け会誌「ZOO！どーぶつえん しんぶん」の送付 ③各種普及活動案内送付（ダイレクトメール） ④新規入会案内パンフレットの作成及び配布

(1) 友の会会員対象催物

実施月日	行 事 名	内容・講師等	参加者
5月29日	アマモ場の生物観察会	千葉県富津で砂中やアマモ場にくらす生物を観察 指導：葛西臨海水族園	32名
6月19日 ～21日	ウミガラスのふるさと北海道天売島見学と札幌市円山動物園ツアー	北海道天売島でウミガラス、ケイマフリ、ウミスズメ等の海鳥を自然観察、及び札幌市円山動物園の見学 指導：札幌市円山動物園、伊藤元裕氏（北海道大学大学院水産科学研究員）、葛西臨海水族園	17名
(11月6日 ～8日)	(ルリカケスと奄美大島の野生動物観察会)	(ルリカケスやアマミノクロウサギ等が生息する奄美大島で自然観察や博物館見学予定だったが、豪雨による被災状況を考慮し中止)	—
1月15日	干支の動物講演会	講演：「ウサギの不思議、ウサギのいま」 講師：山田文雄氏（森林総合研究所）	122名
2月26日 ～27日	“ウサギ追い”と里山のくらし体験	福島県岩瀬郡天栄村で写真撮影による「ウサギ追い」を行い、ノウサギの生態や生息地の観察、地元の方のお話や豆打ちを通じて里山の暮らしを体験 指導：EIMY 湯本地域協議会、岩崎雄輔氏（福島県立会津高校）、井の頭自然文化園ほか	14名
2月27日	昆虫野外観察会	多摩動物公園と七生公園で昆虫を観察 指導：多摩動物公園	46名

(2) ジュニア会員対象催物

実施月日	開催園	内 容	参加者
7月4日	井の頭自然文化園	卵をテーマに鳥類の観察	40名
9月19日	多摩動物公園	雑木林でアカネズミ等を観察	26名
10月16日	恩賜上野動物園	クマの冬眠について解説と施設見学	31名
3月6日	葛西臨海水族園	水族園の裏側で施設見学と動物解説	37名

(3) 友の会の日の実施

今年度の「友の会の日」は上野動物園で開催し、園内施設見学を実施した。また、友の会会員相互及び動物園・水族園スタッフとの交流を深めるための懇親会を開催した。(150名参加)

実施月日	催物名	内 容
9月4日	友の会の日 (恩賜上野動物園)	第1部 園内特別見学(教育普及係、飼育展示係) 第2部 懇親会及びチャリティーバザー (恩賜上野動物園 不忍池畔)

6. 資料の収集・公開

動物及び動物園・水族館関係の専門書や学術雑誌、普及雑誌を中心に収集した。定期刊行物は、購入や寄贈のほか、動物園、博物館、研究所等の出版物との交換により収集した。

そのほか、海外の動物園ボランティア、会員組織に関する情報や、野生動物をとりまく国際的な状況を適正に把握するとともに、海外の動物福祉、倫理関連等に関する文献(Journal of Animal Welfare [2011]等)を収集した。

また、写真・ビデオ等の映像資料のほか、動物の音声資料(録音データ)も園内外の利用に供した。収蔵図書については、ホームページ上に図書検索システムを設けている。

(1) 図書収集状況

区 分	収集 点数	国 内			国 外			摘 要
		購入	寄贈	交換	購入	寄贈	交換	
書籍類	200	110	53	0	20	17	0	収蔵数 和書 12,465冊 洋書 3,828冊
雑誌類	700	214	213	141	100	32	0	

(2) 図書利用一覧

区分	動物園	哺乳類	鳥 類	爬虫類	魚 類	無脊椎	一 般	その他	計
件数	67	31	18	2	1	3	17	4	143

(都立動物園水族園関係者は除く)

(3) 映像資料利用状況

区 分	無 料		有 料		合 計	
	モノクロ写真	14件	69点	37件	181点	51件
カラー写真	43	411	41	85	84	496
ビデオ映像	10	56	44	149	54	205
音声資料	2	2	8	55	10	57
計	69件	538点	130件	470点	199件	1,008点

(都立動物園水族園関係者は除く)

7. 出版事業

(1) 機関誌の発行

動物及び動物園に関する情報を提供するための次の出版物を発行し、「東京動物園友の会」会員その他関係機関等に配付した。

刊 行 物	内 容
季刊 どうぶつと動物園	<p>A 4 変型判・50-54頁／約4,350部／春・夏・秋・冬号 (Vol.62-2～63-1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カバ来日100年を記念して、上野動物園のカバ飼育史を、写真を中心にふりかえる記事を掲載した。 ・アムールトラ、マレーグマ、ヒガシクロサイ、カイツブリ、ニシローランドゴリラ等、動物園での繁殖種について、飼育の経緯及び繁殖への取組みに関する紹介記事を掲載した。 ・多摩動物公園のカワネズミの展示やグローワームの展示等にスポットをあて、ふだん知られていない生態や飼育上の工夫等の記事を掲載し、読者の好評を得た。 ・動物研究や保全活動の最新知見として、日本産ハクビシンの起源や、クロヌタウナギの孵化、エチゼンクラゲの大発生、アジアゾウの種子散布、皆神山のクロサンショウウオの研究等、多様な観点から紹介した。
ZOO！ どうぶつえん んしんぶん	<p>A 4 判・8頁／800部／8月・2月発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4号（8月発行）は「ゴリラ」を特集した。上野動物園で誕生した「コモモ」を取り上げるとともに、全8頭の個体紹介、及びゴリラの一般的な特徴を紹介した。また、ゴリラの「おもしろ行動」をランキングとして掲載した。 ・第5号（2月発行）は「トラ」を特集した。上野動物園のスマトラトラと多摩動物公園のアムールトラ全頭紹介、写真とイラストによる体の特徴の解説、トラの分布や習性等を掲載した。また、多摩動物公園昆虫園での累代飼育ランキングを掲載した。

(2) 民間との協働による出版物

刊 行 物	内 容
マンスリー どうぶつえん	<p>A 4 変型判・12頁／約45,000部／4回発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恩賜上野動物園を中心に話題の動物を取り上げるとともに、施設紹介や動物園の楽しみ方等、動物園の魅力を伝える情報誌を発行し、園内や都庁に設置して配布した。 ・今年度は11月の創刊号から1・2月合併号まで計4号を発行し、1歳を迎えたゴリラのコモモ（第1号）、干支の動物ウサギ（第2号）、ツキノワグマの冬眠（第3号）、来日100年を迎えたカバの飼育史（第4号）等の記事を掲載した。

(3) 高碯賞の表彰

季刊「どうぶつと動物園」に年間（平成22年春号～平成23年冬号）に掲載された記事及び写真を対象に、優れた作品を選出した。

なお、3月に上野動物園で予定されていた表彰式と記念講演会は、東日本大震災の影響による臨時休園に伴い延期した。

区分	表 題	掲載号	氏 名	摘 要
高碯賞	初めてのカワネズミの展示 — 2階建て住居をご用意しました	秋号	菊 地 文 一	多摩動物公園
奨励賞	読者の誌上写真展「ハシビロコウ」	春号	須 磨 則 子	
	読者の誌上写真展「コビトカバ」	夏号	高 田 健 一	
	読者の誌上写真展「ヨーロッパオオカミ」	夏号	福 田 淳	

8. インターネット事業

ホームページ「東京ズーネット」及びメールマガジン「ズー・エクスプレス」を通じて、動物園・水族園の基本情報及び動物に関する情報を広く提供・配信した。また、ホームページ「UENO-PANDA.JP」を開設し、ジャイアントパンダに関する情報を掲載・配信した。

(1) ホームページ「東京ズーネット」の運営 (<http://www.tokyo-zoo.net/>)

【主なコンテンツ】

ページ名	内 容 等
ニュース&催物	都立動物園で飼育している動物に関する最新情報と各園催物情報
どうぶつ図鑑	飼育動物に関する生態等の解説
東京ズーネットBB	動物の様々な行動の動画配信（平成23年3月31日現在計597点）
鳴き声図鑑	動物の鳴き声の音声配信
東京動物園友の会	活動や会誌の紹介
ガイドツアー	各園の動物解説員が行うガイドツアーの内容及びスケジュール案内
蔵書検索	上野動物園資料室に収蔵されている動物関連図書の検索システム

(2) メールマガジン「ズー・エクスプレス」の発行

内 容	摘 要
都立動物園情報、国内外各種情報、新刊書籍情報等を登録会員に毎週配信	4月2日号（No.481）から3月4日号（No.530）まで全50号を配信した（東日本大震災等の影響を考慮し、3月は第1週のみ配信）（平成23年3月31日現在：登録数11,878件）

(3) 携帯電話サイト・動画ページの運営

内 容	摘 要
都立動物園情報等をPC版サイトに連動して配信	動物園ニュース・催物情報に加え、携帯版動画を毎月追加し総計44点を配信した。

(4) ホームページ「UENO-PANDA.JP」の開設・運営 (<http://www.ueno-panda.jp/>)

上野動物園のジャイアントパンダ情報サイトとして平成23年2月16日に開設。過去に飼育した個体と来園した個体の情報やジャイアントパンダに関するQ&A、保全への取組み、ジャイアントパンダ保護サポート基金の紹介等、各種情報を掲載した。

【主なコンテンツ】

ページ名	内 容 等
トピックス	上野動物園のジャイアントパンダに関する最新情報
パンダプロフィール	上野動物園で公開される2頭の個体紹介
ジャイアントパンダについて	様々な角度からジャイアントパンダを紹介
熊猫的新聞 (パンダニュース)	飼育係による写真付きのレポート
歴代のパンダたち	これまで上野動物園で飼育した個体を動画とともに紹介
パンダ舎の紹介	改修したパンダ舎を写真付きで紹介
パンダ大百科	ジャイアントパンダに関するQ&A
保全への取組み	ジャイアントパンダ保護研究に関する概要
パンダムービー	動画によるジャイアントパンダ紹介
ジャイアントパンダ保護サポート基金	基金概要及びSAVE the PANDAパートナーズクレジットカード決済

9. 映像記録資料制作

(1) 動物写真撮影

都立動物園水族園を中心に、飼育動物全般に関する記録及び園内外の行事や催物を撮影・記録した。

(2) ビデオの作品制作

飼育動物の行動記録や動物園情報をビデオ映像として撮影記録し、来園者向けニュースや各種研究発表として上映・提供するほか、ホームページ「東京ズーネット」「UENO-PANDA.JP」において配信した。

内 容	時 間	園 名	主な使用目的
動物の親子	13分	上 野	講演用
マレーグマの「ウメキチ」	4分	上 野	講演用
ニホンザルの行動	3分	多 摩	園内上映用
オランウータン飼育係の仕事	12分	多 摩	動物舎上映用
アムールトラ「シズカ」と子どもたち	2分	多 摩	園内上映用
サマーナイト@TamaZoo	3分	多 摩	園内上映用
ゴリラの「コモモ」	3分	上 野	講演用
トキの繁殖	4分	多 摩	研究発表用
アイアイ	2分	上 野	園内催物用
最近の都立動物園・水族園	13分	4 園	催物用
上野動物園へようこそ①	3分	上 野	総合案内所上映用
上野動物園へようこそ②	3分	上 野	総合案内所上映用
ジャイアントパンダが来園しました	1分	上 野	総合案内所上映用
ジャイアントパンダ公開日決定	1分	上 野	総合案内所上映用
身を守る爬虫類	1分	上 野	両生爬虫類特設展用

(3) 広報用資料の制作

動物園・水族園の広報発表時の写真資料に加え、ビデオ映像を撮影・制作し、提供した。

【広報配布用ビデオ映像】

内 容	時 間	園 名	主な使用目的
来園予定のジャイアントパンダ	2分	上 野	報道発表資料
改修後のジャイアントパンダ舎	7分	上 野	〃
ジャイアントパンダ到着	5分	上 野	〃

〔４〕受託業務

１．ユビキタス運営事業受託

東京都からの委託により、携帯端末ユビキタスコミュニケーター及びユビキタス電動カートを使い、恩賜上野動物園内の動物等の情報を取得できるユビキタスサービスの運営業務を実施した。

項 目	内 容
件 名	上野動物園ユビキタス携帯ガイド端末サービス運営業務
業 務 内 容	①申込受付、操作方法説明、貸出・返却受付、トラブル対応等の利用者接遇業務 ②携帯端末及び周辺機器の保守点検管理業務 ③その他、事前申込受付等
期 間	平成22年4月1日～平成23年3月31日
委 託 金 額	44,953,650円

項 目	内 容
件 名	上野動物園ユビキタス電動カートサービス試験運用業務
業 務 内 容	①申込受付、操作方法説明、貸出・返却受付、利用中のガイド、トラブル対応等の利用者接遇業務 ②電動カートの保守点検管理業務 ③その他、事前申込受付等
期 間	平成22年6月11日～平成23年1月30日
委 託 金 額	20,160,000円

2. ジャイアントパンダ導入に関わる業務受託

東京都からの委託により、恩賜上野動物園にジャイアントパンダを導入するための準備、施設改修への助言協力、輸送等の業務を実施した。

項 目	内 容
件 名	上野動物園ジャイアントパンダ導入準備調査委託
業 務 内 容	①上野動物園に来るペアの確認 ②中国の飼育施設に関する調査 ③上野動物園の飼育施設の事前確認
期 間	平成22年5月21日～平成22年9月30日
委 託 金 額	4,305,000円

項 目	内 容
件 名	恩賜上野動物園ジャイアントパンダの受入に関わる業務委託
業 務 内 容	①上野動物園の飼育施設の改修後の検収 ②上野動物園職員の中国への研修出張 ③中国からのジャイアントパンダの輸送 ④輸送時ならびに馴致のため随行してくる中国担当者の受入れ
期 間	平成22年11月1日～平成23年3月24日
委 託 金 額	25,168,185円

3. 特別天然記念物トキの健康管理及び飼育指導に係る業務受託

新潟県からの委託により、佐渡市のトキ保護センター、野生復帰ステーションにおいてトキの定期検診及び飼育指導を行った。

項 目	内 容
件 名	特別天然記念物トキの健康管理及び飼育指導
業 務 内 容	①定期健康診断 ②飼育指導 ③野生復帰訓練補助
期 間	平成22年4月1日～平成23年3月31日
委 託 金 額	1,170,000円

〔5〕市民・団体との協働業務

1. ボランティアとの協働

恩賜上野動物園、多摩動物公園、井の頭自然文化園において、展示動物の解説等の教育普及のほか、来園者案内等のボランティア活動を行っている「東京動物園ボランティアーズ(TZV)」(登録者数613名)と、葛西臨海水族園で同様の活動を行っている「東京シーライフボランティアーズ(TSV)」(登録者数102名)に対して、新規登録者対象の研修会の開催、ニュースレターの発行やユニフォーム等活動経費の援助を行った。

(1)「東京動物園ボランティアーズ」研修会等実施状況

園名	内容	実施回数	参加者数
恩賜上野動物園	①ドーセントグループ(DG)・サービスガイド(SG)新規登録者合同講習会	①1回	①70名
	②DG前期講習会	②1回	②36名
多摩動物公園	①DG新規登録者前期講習会	①1回	①40名
	②DG後期講習会	②3回	②71名
井の頭自然文化園	DG後期講習会	1回	36名

(2)「東京シーライフボランティアーズ」研修会等実施状況

園名	内容	実施回数	参加者数
葛西臨海水族園	「東京の海」を中心とした研修(他に「マグロガイド」「ボトルウォッチング」等)	9回	98名

(3) ボランティアとの協働による教育活動

園名	内容	実施回数
恩賜上野動物園	園内スポットガイド、ふれあいコーナー活動	499
多摩動物公園	園内スポットガイド、ふれあいコーナー活動	538
葛西臨海水族園	しおだまり、東京の海ガイド	401
井の頭自然文化園	園内スポットガイド、ヤマドリガイド	188

2. サポーター事業

個人及び団体、法人等から資金的支援を得て、都立動物園における動物飼育環境の改善に資するとともに、「動物園サポーター」として登録し、市民の動物園事業への理解と参画意識を促進した。

(1) 動物園サポーターの登録状況

園名	個人 (大人) 1口:10,000円	個人 (大学生以下) 1口:5,000円	子供 サポーター 1口:500円	法人 (団体) 1口:50,000円	金額
上野	262人	35人	25人	7法人	5,277,865円
多摩	111人	5人	8人	6法人	2,900,000円
葛西	8人	1人	8人	1法人	1,150,000円
井の頭	58人	2人	67人	2法人	2,028,239円
合計	439人	43人	108人	16法人	11,356,104円

2. サポーターを対象とした園内見学等の催物（サポーターズデイ）等の実施

実施月日	開催園	内 容	参加者
5月23日	上野	講演「上野で生まれた動物の子供たち」と両生爬虫類館新展示及び特設展見学	56名
7月24日	上野	開園前の園内見学	114名
8月10～16日	上野	真夏の夜の動物園への参加	64名
9月12日	井の頭	園長による解説と園内見学	17名
11月28日	葛西	開園前の園内見学	17名
1月15日	上野	干支講演会への参加	33名
(3月20日)	(多摩)	(東日本大震災等の影響による臨時休園に伴い延期)	—

(3) サポーター資金による飼育展示等の改善

園名	実施事項
恩賜上野動物園	①両生爬虫類館展示改修 ②カナダヤマアラシ新展示設置 ③子ども動物園水鳥プール工事 ほか
多摩動物公園	①カンガルー人工哺乳装置設置 ②チンパンジー放飼場遊具設置

園 名	実 施 事 項
多摩動物公園	③オランウータン用特別ケーキ及び絵画用紙購入 ④キリン放飼場樹木設置用台座設置 ほか
井の頭自然文化園	①コールダック舎改修 ②はな子等身大撮影パネル作成 ③「いきもの広場」造成 ほか

3. 関係団体との協力

(1) 国際自然保護連合への協力

国際自然保護連合（IUCN）の委員会である種保存委員会（SSC）の保全繁殖専門家グループ（Conservation Breeding Specialist Group 略称CBSG）へ、事業援助のため寄付を行った。

(2) 関係団体への協力

動物園事業に関係する17の団体に加入し、情報の交換や募金活動への協力を行った。

[加入団体]

会員区分	団 体 名	会員区分	団 体 名
特別賛助会員	(公財)世界自然保護基金ジャパン	団 体 会 員	日本動物心理学会
賛 助 会 員	(財)日本鳥類保護連盟	〃	日本霊長類学会
〃	(財)山階鳥類研究所	〃	日本応用動物昆虫学会
維 持 会 員	(社)日本動物園水族館協会	〃	日本環境教育学会
団 体 会 員	日本博物館協会	〃	日本昆虫学会
〃	日本哺乳類学会	〃	日本動物行動学会
〃	日本生態学会	〃	日本鱗翅学会
〃	日本動物学会	〃	日本鳥学会
〃	日本自然保護協会		

(3) 動物愛護週間中央行事への協賛

実施月日	9月12日、18日
行 事 名	動物愛護週間中央行事
主 催	環境省、東京都他計11団体
内 容	「動物愛護ふれあいフェスティバル」の各種行事やシンポジウム等に協賛した。
会 場	上野公園噴水前広場、恩賜上野動物園（動物園ホール、子ども動物園）、 東京国立博物館平成館講堂

4. 基金事業

(1) ジャイアントパンダ保護サポート基金の設置

東京都と中国が共同で実施する「ジャイアントパンダ繁殖研究プロジェクト」への支援と、パンダ保護への理解を深めること等を目的として、「ジャイアントパンダ保護サポート基金」を設置し、個人・企業からの募金は平成23年2月から開始した。

基金残高	3,915,577円（平成23年3月31日現在）
------	--------------------------

(2) ジャイアントパンダ保護サポート基金運営委員会の開催

基金を適正に管理し事業に活用するため、ジャイアントパンダ保護サポート基金運営委員会を設置し、運営した。

回	開催月日	議 題
第1回	9月21日	(1) 委員長、副委員長の選出について (2) ジャイアントパンダ保護サポート基金の設置について
第2回	1月31日	(1) 基金のコンセプト及び基金活用のフレームワークについて (2) 募金事業の開始及び具体的内容について

第3 収 益 事 業

I. 事業総括

恩賜上野動物園、多摩動物公園、葛西臨海水族園の利用者の利便と公益目的事業の充実のために、以下の事業を実施した。

また、平成23年度から許可される井の頭自然文化園の新売店オープンに向け、これまでのノウハウを生かした店舗プランの検討・営業開始準備を行った。

事業区分	事業細目		
	園 名	種 別	箇所数
I. 便益施設の経営	(1) 恩賜上野動物園	(1) 売店	4
		(2) 飲食店	2
		(3) 臨時売店	1
		(4) 自動販売機コーナー	7
		(5) ベビーカー貸出所	1
		(6) 写真(映像資料)貸出	2
		(7) コインロッカー	1
	(2) 多摩動物公園	(1) 売店	4
		(2) 飲食店	1
(3) 臨時売店		3	
(4) 自動販売機コーナー		7	
(5) コインロッカー		1	
(6) ライオンバス		1	
(3) 葛西臨海水族園	(1) 売店	2	
	(2) 飲食店	1	
	(3) 自動販売機コーナー	2	
	(4) コインロッカー	2	
II. その他事業	(1) 恩賜上野動物園内広告事業(広告施設10箇所)		
	(2) 協賛金募集事業(ジャイアントパンダ保護サポート基金等)		

Ⅱ. 事業実績

〔1〕 便益施設等の経営

1. 施設及び収入額

(単位：千円)

園 名	施 設 名	収 入 額
恩賜上野動物園	1. 1号売店 (店名：リトルトランク) 2. 4号売店 (店名：カメレオン) 3. 東食売店 (猿山前) 4. 東園中央広場売店 (店名：バードソング) 5. 飲食店第1号 (東園) 6. 飲食店第2号 (西園) 7. 臨時売店 8. 自動販売機コーナー 9. ベビーカー貸出所 10. 写真 (映像資料) 貸出 11. コインロッカー 12. その他	1,034,540
多摩動物公園	1. 2号売店 (コアラ館) 2. 3号売店 (ライオン園) 3. 4号売店 (店名：コレクション) 4. 5号売店 (店名：ズーカフェ) 5. 飲食店 (アフリカ園) 6. 臨時売店 7. 自動販売機コーナー 8. ライオンバス 9. コインロッカー 10. その他	508,772
葛西臨海水族園	1. 1号売店 (店名：アクアマリン) 2. 2号売店 (店名：アクアスケープ) 3. 飲食店 (店名：シーウインド) 4. 自動販売機コーナー 5. コインロッカー 6. その他	511,940
合 計		2,055,252

2. 商品取扱状況

(単位：点)

区 分		恩賜上野動物園	多摩動物公園	葛西臨海水族園
取扱商品数		1,357	1,499	1,611
内 訳	ギフトその他	1,106	1,261	1,473
	飲 食 品	251	238	138

〔2〕 その他の事業

1. 恩賜上野動物園内広告事業

上野動物園の案内誘導サイン等の整備費用に充てるため、園内に設置した下記の広告掲示施設により、広告料金による民間からの資金を得た。

種 別	設 置 場 所	数 量
動物解説ボード	ジャイアントパンダ、ニホンザル、カバ、サイ、ゾウ、ゴリラ、ワシ・タカ、キリン・オカピ、ハシビロコウ	9基
環境啓発ボード	モノレール東園駅前	1基

2. 協賛金募集事業

ジャイアントパンダの保護や生息環境保全への理解促進事業のために、園内メディア提供による協賛企業の募集に向けた取組みや、オリジナルグッズ・ドネーション商品の企画制作と販売を行った。

第 4 事 務 報 告

I. 役員会議の開催

〔1〕 評議員会

回	開催月日	議 題
※	4月7日	(1) 理事の選任について (2) 常勤理事の報酬総額について
第1回	6月29日	(1) 平成21年度事業報告について (2) 平成21年度決算報告について 監査報告
※	7月15日	(1) 理事の選任について (2) 監事の選任について
※	11月8日	(1) 評議員選定委員の互選について (2) 評議員候補者の推薦について
第2回	3月29日	(1) 常勤理事の報酬総額の変更について (2) 常勤理事の報酬に関する規程の改正について

※書面表決による決議

〔2〕 理 事 会

回	開催月日	議 題
※	4月1日	(1) 事務局長の任免について
※	4月14日	(1) 常務理事の互選について (2) 常勤理事の報酬額について
第1回	6月29日	(1) 平成21年度事業報告について (2) 平成21年度決算報告について 監査報告 理事長及び常務理事の職務状況報告
※	7月15日	(1) 常務理事の互選について (2) 常勤理事の報酬額について
※	9月6日	(1) 平成22年度事業計画の変更について (2) 平成22年度収支予算の補正について

回	開催月日	議 題
第2回	11月15日	(1) 諸規程の制定、改正及び廃止について (2) 評議員選定委員の選任について (3) 評議員候補者の推薦について
第3回	3月29日	(1) 平成23年度事業計画書(案)について (2) 平成23年度収支予算書(案)について (3) 参与の委嘱及び報酬額について (4) 常勤理事の報酬額の変更について 理事長及び常務理事の職務状況報告

※書面表決による決議

〔3〕評議員選定委員会

回	開催月日	議 題
第1回	11月19日	(1) 議長の選出について (2) 評議員の退任にともなう後任者の選定について

Ⅱ. 監 査

- 〔1〕平成21年度の事業報告及び決算報告について、平成22年6月11日に監事による監査を実施した。
- 〔2〕京橋監査法人と監査契約を締結し、公認会計士による会計帳簿・証憑書類の試査、実地棚卸立会、現金実査、銀行残高確認等の外部監査を実施した。

Ⅲ. 人事関係

〔1〕 就任・退任

① 理事・監事の就任

役職名	氏名	就任月日	摘要
常務理事	山田 隆	4月7日	前公益財団法人東京動物園協会特命担当部長
〃	小口 健藏	7月16日	前東京都建設局公園緑地部長
理事	林 有厚	4月1日	東京商工会議所特別顧問
〃	長谷川 寿一	4月1日	東京大学大学院総合文化研究科教授
〃	滝澤 達	7月16日	東京都建設局公園管理担当部長
監事	野口 宏幸	7月16日	東京都建設局総務部長

② 評議員の就任

役職名	氏名	就任月日	摘要
評議員	橘 正剛	11月19日	東京都議会環境・建設委員会委員長
〃	大内 弘	11月19日	東京都東部公園緑地事務所長
〃	高橋 都彦	11月19日	公益財団法人東京都公園協会理事長

③ 理事・監事の退任

役職名	氏名	退任月日	摘要
常務理事	伊藤 精美	7月15日	元東京都建設局公園緑地部長
理事	三浦 紀子	7月15日	前東京都建設局公園管理担当部長
監事	藤井 芳弘	7月15日	前東京都建設局総務部長

④ 評議員の退任

役職名	氏名	退任月日	摘要
評議員	藤井 一	10月6日	前東京都議会環境・建設委員会委員長
〃	上杉 俊和	11月18日	前東京都東部公園緑地事務所長
〃	只腰 憲久	11月18日	前公益財団法人東京都公園協会理事長
〃	柿澤 亮三	3月6日	玉川大学教育博物館特任教授（死去）
〃	西 源二郎	3月31日	前東海大学水族生態研究センター長

〔2〕役員等名簿（平成23年3月31日現在）

○総 裁 常陸宮殿下

○会 長 貫洞哲夫

（1）理事・監事

No.	役職名	氏 名	摘 要
1	理事（理事長）	浅 倉 義 信	元東京都建設局次長
2	理事（常 務）	小 口 健 藏	前東京都建設局公園緑地部長
3	”	山 田 隆	前公益財団法人東京動物園協会特命担当部長
4	理 事	菅 谷 博	茨城県立自然博物館長
5	”	羽 仁 進	映画監督・評論家
6	”	西 山 廣 一	京王電鉄株式会社特別顧問
7	”	岡 野 俊 一 郎	国際オリンピック委員会委員
8	”	青 木 淳 一	横浜国立大学名誉教授
9	”	島 津 久 永	財団法人山階鳥類研究所理事長
10	”	見 城 美 枝 子	青森大学教授、エッセイスト
11	”	小 林 光	財団法人自然環境研究センター上級研究員
12	”	林 有 厚	東京商工会議所特別顧問
13	”	長 谷 川 寿 一	東京大学大学院総合文化研究科教授
14	”	滝 澤 達	東京都建設局公園管理担当部長
1	監 事	木 村 一 雄	上野のれん会名誉会長
2	”	木 村 欣 二	黒川木徳証券株式会社代表取締役会長
3	”	野 口 宏 幸	東京都建設局総務部長

（2）参 与

No.	氏 名	摘 要
1	小 宮 輝 之	恩賜上野動物園長

(3) 評 議 員

No.	氏 名	摘 要
1	林 良 博	財団法人山階鳥類研究所長
2	高 橋 茅 香 子	翻訳家
3	松 島 ト モ 子	俳優
4	内 山 晟	動物写真家
5	久 邦 彦	漫画家・絵本作家
6	村 田 浩 一	日本大学生物資源科学部教授
7	海 老 名 香 葉 子	エッセイスト
8	篠 永 哲	元東京医科歯科大学大学院助教授
9	遠 藤 秀 紀	東京大学総合研究博物館教授
10	西 源 二 郎	前東海大学水族生態研究センター長
11	今 泉 忠 明	日本ネコ科動物研究所長
12	橘 正 剛	東京都議会環境・建設委員会委員長
13	影 山 竹 夫	東京都建設局次長
14	大 内 弘	東京都東部公園緑地事務所長
15	五 十 嵐 政 郎	東京都西部公園緑地事務所長
16	近 藤 信 司	独立行政法人国立科学博物館長
17	高 橋 都 彦	公益財団法人東京都公園協会理事長

(4) 顧 問

No.	氏 名	摘 要
1	石 原 慎 太 郎	東京都知事
2	石 内 展 行	元財団法人東京動物園協会理事長
3	浅 倉 繁 春	元財団法人東京動物園協会理事長
4	中 川 志 郎	元財団法人東京動物園協会理事長
5	矢 島 稔	元財団法人東京動物園協会理事長
6	齋 藤 勝	元財団法人東京動物園協会理事長
7	正 田 陽 一	元財団法人東京動物園協会副会長

(5) 正会員

[賛助会員] 上田 浩 斉藤進一 高碓芳郎 上田憲治 上田清一

[特別会員] 関 齋